

平成29年度第2回日進市食育推進委員会議事録

日 時：平成29年10月5日 午後1時30分から午後3時まで

場 所：日進市役所南庁舎2階 第5会議室

出席者：委員10名 事務局5名

〔委員〕安達内美子、竹下穰、小野田笑子、橘由貴子、武田保、岡本光帆、福岡光枝、小塚久美、鏡味美智代、下野房子

〔事務局〕鈴木敦詞課長補佐（産業振興課）、岩城佳寿主査（産業振興課）、木村文香係長（健康課）、榊原裕美管理栄養専門員（こども課）、山本重樹主任専門員（学校給食センター）、山田ゆかり主事（学校教育課）

傍聴者：無し

事務局： 只今より平成29年度第2回日進市食育推進委員会を始めさせていただきます。本日は、大変お忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。事務局の産業振興課 鈴木と申します。よろしく願いいたします。

はじめに、会議の定足数について報告いたします。

委員10名中、10名ご出席されており、本設置要綱第6条第2項に規定する半数以上の出席条件を満たしておりますので、ここに平成29年度第2回日進市食育推進委員会を開催いたします。

それでは委員長からごあいさつをお願いいたします。

委員長： こんにちは。皆様ご出席いただきありがとうございます。本日はアンケートについて協議していく予定ですが、目標を立てて事業に取り組んでいく場合、目標達成の先にある理念について忘れないことが大切だと思います。

本日も良い話し合いができたと思いますのでよろしくお願い致します。

事務局： ありがとうございます。

それでは、これより先は安達委員長に議事進行をお願いいたします。

委員長： それでは、次第に従って進めさせていただきます。

次第2「第3次日進市食育推進計画策定に係るアンケート項目及び集計方法について」について、事務局から説明をお願いします。

産業振興課： 第1回の食育推進委員会後に委員の皆様からいただいたご意見を踏まえ、アンケート項目をまとめました。各アンケート項目の質問内容をまとめたものも一緒に資料としてお配りしておりますのでご確認ください。

なお、前回の推進委員会で配布したアンケート項目（案）の資料から大幅な変更はございませんが、「対象者」の欄に「給食センター」を追加し、「成人」に対してアンケート行う項目は「就園児保護者」と「乳幼児保護者」にもアンケートを行うように変更しています。

また、集計方法につきましては、今後、業者と打ち合わせながら進めていきますが、ライフステージごとに集計すること等も想定し、可能な限り年齢構成を細かく区切って集計することを考えております。

説明は以上です。

委員長： ありがとうございます。

このことについて、何かご意見やご質問はありませんか。

委員： 対象者のうち「成人」について、高齢者が入っていないようであるが、市の他の調査等で利用できるデータがあるのでしょうか。

産業振興課： 調査結果を年齢ごとに集計する予定なので、高齢者についてのデータも把握できると考えております。

委員： 本日の配布資料である「質問内容（案）」と、先日各委員に送付された「いきいき健康プランにしん21」の調査票とは、どのような関連があるのでしょうか。

産業振興課： 先日送付させていただいた「いきいき健康プランにしん21」の調査票は、質問内容のイメージをお示しするための参考資料であり、今回実施する食育のアンケートとは全く別物の調査です。ただ、「いきいき健康プランにしん21」の調査の中で、食育に関係する質問事項が含まれているため、それらの質問事項を整理したものが本日配布した「質問内容（案）」です。

委員長： 「アンケート項目一覧（案）」の中で、「児童の食生活について」の調査対象に中学生や高校生が含まれていませんが、何か理由があるのでしょうか。含めても良いのではないのでしょうか。

健康課： その点について補足説明をさせていただきます。

朝食を家族と一緒に食べているかどうか等の質問については、部活の朝練等、学校のスケジュールにより家族と一緒に食べられない児童もいるのではないかとの意見も踏まえて調査対象を選定した経緯があったように記憶しています。

産業振興課： 学校のスケジュール等も当時と変わっている可能性もありますし、幅広く

データを把握するため、今回は調査対象に含めるようにしたいと思います。

委員長： 食事の時に「いただきます」「ごちそうさま」を言っているかどうか、大人にも聞いてみたいと思うので、調査対象に含めていただけないでしょうか。

産業振興課： 「保護者」や「成人」も含めさせていただきます。

委員： 「質問内容（案）」の中で、食育に関心がある理由との質問項目として「BSEの発生など、食品の安全確保が重要だから」という選択肢があるが、最近ではBSEを知らない方も多くなってきているのではないのでしょうか。BSEという言葉があると、分かりにくくなってしまいます。

産業振興課： 「BSEの発生など」の部分を削除します。

委員長： 高校生への調査は、どのような形になるのでしょうか。

産業振興課： 学校を通じて調査票を配布・回収する予定です。
配布対象は、市内の高校に通う日進市民である高校生です。

委員長： 栄養成分表示や食品ロスに関する調査項目について、中学生や高校生を対象に含めてはいかがでしょうか。

委員： お弁当等を買って食べる高校生も多いので、対象に含めると良いと思います。

産業振興課： 中学生、高校生も対象に含めるようにします。

委員長： 朝食の定義については、どのようにしましょうか。

産業振興課： 前回の調査では、朝食についての細かい定義はしていません。

委員： 朝食の内容について線引きをすることは難しいので、何かを食べているか、何も食べていないかで分けるのが良いと思います。

健康課： 前回と今回の調査結果を比較するためには、前回と同じ聞き方にする必要があると思います。朝食の質について状況を把握するには、新たに質問を設けるのが良いと思いますがいかがでしょうか。

委員： アンケートの目的は、目標達成のための具体的な策を考えるためということでしょうか。

産業振興課： 目的としては、現在の計画の達成状況の確認と、今後の計画策定のためという2つの視点があります。

委員： 朝食の線引きは難しいので、今回の調査では、ご本人が朝食だと考えていれば朝食であるという扱いで良いと思います。

委員： 集計するのは難しくなると思うが、今の子どもたちがどんな朝食を食べているのか記述してもらうのはどうでしょう。

委員長： 給食センターや学校で、そのようなアンケートを取っていませんか。

学校給食センター： 小学校3年生と5年生には、そのようなアンケートを実施しています。菓子パンだけの家庭もあれば、ごはん・味噌汁・おかず、といった朝食を食べている家庭もあり、朝食内容は各家庭によって様々です。

委員： 食事の手洗いは大切だと思うので、調査項目に加えてはいかがでしょうか。

委員： 食事の手洗いも食育の一環だと思うので、調査するのは良いことだと思います。

委員長： アンケートに関しては、今後、事務局と業者で打ち合わせをしながら進めていただきますが、事務局が判断に困った場合などは、委員長に相談させていただきたいとの事務局からの希望がございます。

その際には、委員の皆様を代表して、委員長である私が判断させていただきたいと思いますがよろしいでしょうか。

(異議なし)

事務局はそのように進めていただくようお願いいたします。

委員長： それでは、次の議題に移らせていただきます。

次第3「平成30年度実施事業について」について、事務局から説明をお願いします。

事務局： 各課より、平成30年度実施事業について、担当よりご説明させていただきます。

産業振興課： 今年度は、伝統料理の継承を目的とした市民講座や農学校等の事業を行っておりますが、毎年実施しているこれらの事業を、来年度も引き続き実施していきたいと考えております。

健康課： 健康課では、今年度も健診や教室などの事業を行っており、これらを効果的に組み合わせを進めていきたいと考えております。従いまして、新たに事業を立ち上げるといったことはありませんが、引き続き、食生活改善推進員、ボランティア、大学の皆様等のお力を借りながら食育を進めていきたいと思っております。
また、予算がついた場合には、来年度に食生活改善推進員の養成を行う予定です。

こども課： こども課では、日々の保育の中で食育を推進していこうと考えております。来年度の保育所保育指針の改訂により、さらに食育を進めていくことが求められておりますので、食生活改善推進員等のご協力をいただきながら、食育に力を入れていきたいと考えています。

学校教育課： 来年度も今年度に引き続き、野菜を育て、収穫し、それをいただく、ということを経験していきたくと考えております。

学校給食センター： 今年度の事業を来年度も継続していきたいと考えております。
小学校3年生、5年生、中学校1年生についても、食育指導を通じて健康増進を図っていきたくと思っております。

委員長： ありがとうございます。
このことについて、何かご意見やご質問はありませんか。

委員： 名古屋学芸大学の先生による食事関係の記事が広報にっしんに載っています。
食育によって健康を維持できれば医療費もかからなくなる。それが食育の狙いでもあるため、このような記事の存在をもっと広め、食育の目的についても知ってもらえるようにすることが大切だと思っております。

委員： にぎわい交流館のこども食堂はどのような状況でしょうか。

委員： はじめは10人くらいでしたが、最近増えてきて、今はだいたい40～50人の

利用者がいます。
いろんな学習や遊びも取り入れています。

委員：豊かになった反面、こども食堂のような施設が必要とされているという現実があり、これからは食の貧困についても考えていかななくてはいけないと感じています。

委員長：国の食育基本計画の中でも、多様な家庭に対応した食育の推進が謳ってあるので、第3次の計画を考える上でも大切な点だと思います。

委員：日進市では、給食費が支払えないという方はいらっしゃらないですか。

学校教育課：支払いが困難な方には、就学援助の制度をご案内しています。

委員：給食費を本当に支払えない方の話を聞くと、気の毒に感じます。

委員：先ほどの話ですが、どんな朝食を食べているかの調査は興味深いと思います。

委員長：もし、どんな朝食を食べているのかについてのアンケートを学校等で実施することがあれば、結果を教えていただけると私達も勉強になるのでありがたいと思います。

委員長：それでは、次の議題に移らせていただきます。
次第4「その他」について、事務局から何かございますか。

事務局：今後の予定ですが、今年度はこれで食育推進委員会は終了となります。
今年度実施するアンケートの集計結果は、まとめ次第、改めて皆様にお知らせさせていただきます。アンケート結果を基に、来年度はいよいよ計画策定を行ってまいりますのでよろしくお願いいたします。

委員長：ありがとうございました。
すべての議題が終わりましたので、進行を事務局にお返しします。

事務局：長時間にわたり、ありがとうございました。
みなさまのご協力により、全ての議題をつつがなく終えることができました。
これで平成29年度第2回日進市食育推進委員会を終了させていただきます。
本日は誠にありがとうございました。